

日 時：2018年7月12日(木)【第一部】 9:30～12:30

【第二部】 14:00～17:00

場 所：青山学院大学 青山キャンパス 2号館 2階 224室

出席者：32名

研修テーマ：産学が一体となった共創

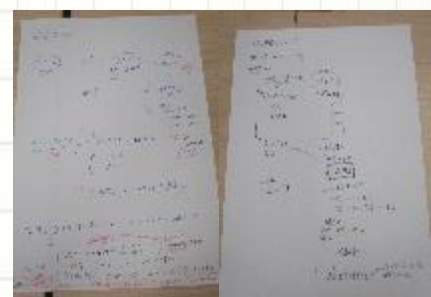
## 1. 研修内容

【第一部】は、「キャリアデザイン・セミナー（1年生前期）」の授業を見学しました。この授業は、協力企業が課すテーマについてグループで調査を行い、提案をまとめ、プレゼンテーションを準備し発表する実習形式で展開されており、学生の主体的に取り組む姿を見学できました。

【第二部】は、本授業の元となっている「Future Skills Project」について、FSP研究会 理事 松本 隆 様より、「できるだけ早期に社会のリアルな課題に触れる」、「社会に必要な力と、自分の力とのギャップを自覚する」、「そのギャップを埋める手段として、学部教育の重要性を理解する」などプログラム開発や事例、成果等についてご紹介いただきました。その上で、参加者は「大学が育てたい人材、大学が学生に学んでほしいこと」、「企業が望む人材、企業が学生に大学で学んでほしいこと」について大学関係者、企業関係者がそれぞれの立場で意見を交わしました。

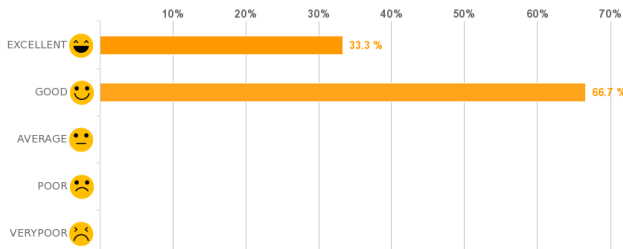
## 2. スケジュール

【第一部】 9:30～12:30	授業見学「キャリアデザイン・セミナー」 ・企業が課すテーマをグループで取り組み、その成果を発表する。
【第二部】 14:00～14:10	全体会 ・会場校ご挨拶 青山学院大学 情報メディアセンター 助教 湯浅 巨敏 様 ・事務連絡
14:10～15:10	ご講演 『学生の主体性を引き出す「産学連携」の取り組み』 一般社団法人 Future Skills Project研究会 理事 松本 隆 様
15:10～15:20	休憩
15:20～16:20	意見交換 テーマ：産学で共創する授業～企業に期待すること、大学に期待すること～
16:20～17:00	施設見学

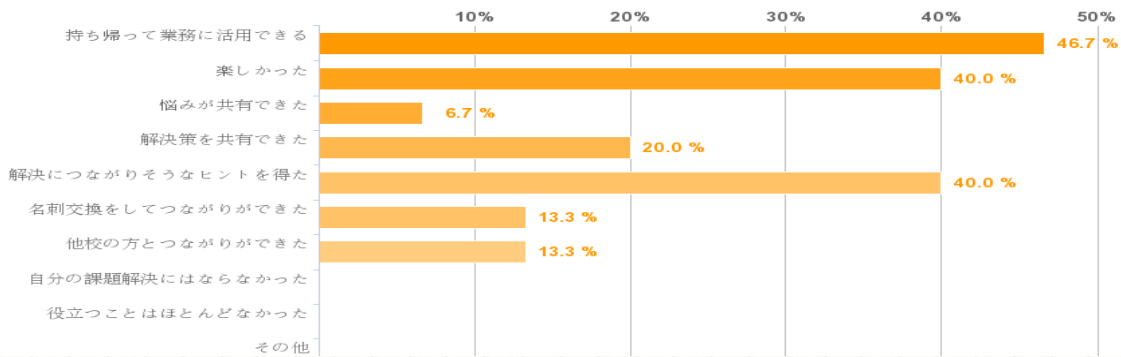


### 3. アンケート結果【回答率79%】(回収数15/19) ※総数「19」はご講演者、富士通を除く

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください（複数回答可）。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があればご自由にご記入ください。

- ・企業側からの参加者として、果たして自分で学生のためになる授業ができるのだろうかと悩む次第でした。かえて企業人の反面教師たる学生こそがイノベーション人材では？ 本日はどうもありがとうございました。
- ・産学連携の授業を見る機会が初めてだったので良かったです。
- ・このような授業で得られるものは何かディスカッションをできたのも良かったです。
- ・PBLに取り組んでいる学生への質問をしてみたい。
- ・FSPが1年生前期に設定されている意味を理解しました。失敗から学ぶ重要性も勉強になりました。
- ・企業さんと一緒に学生をどう育てていくか等話をす機会は今までなかったので、今後活かしていきたい。
- ・授業の見学をさせていただき、とても興味深く拝見させていただきました。
- ・授業の見学は大変勉強になりました。 ・授業をみることができ大変よかったです。 ・良い分科会でした。ありがとうございました。

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・エビデンスベースドラーニングをテーマとした事例を取り上げていただきたいです。
- ・授業におけるICT機器の活用例 ・様々な大学を見学してみたいです。 ・施設見学がとてもよかったです。
- ・施設見学は毎回楽しみにしております。 ・AI,IoTと教育 ・ICTを活用したPBLの実践 ICTを活用した教育事例

【Q5】C S 研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・まだ参加して間もないのですが、運営されている大学関係者の方、富士通の方の熱意を感じます。今後ともよろしく願いいたします。

### 4. 参加校 [9校14名] ・賛助企業[6社18名]・参加総数32名

青山学院大学[1]  
 関東学院大学[3]  
 共立女子大学[3]  
 産業能率大学[1]  
 芝浦工業大学[1]

順天堂大学[1]  
 東海大学[2]  
 文京学院大学[1]  
 放送大学[1]

一般社団法人 Future Skills  
 Project研究会[1]  
 (株) インフィテック[1]  
 東通産業 (株) [2]

(株) 富士通アドバンスエンジニアリング[1]  
 ファーストスタープロジェクト [1]  
 富士通株[10] 事務局[2]

### 5. 所感

実際の授業を見学できたことで、「早期に社会のリアルな課題に触れることの重要性」、「失敗体験からギャップを自覚し、今後の学びや自身の成長をしていく上で、その意味や目的意識を持って取り組む姿勢のきっかけ（マインド）となる体験」などを学ぶことができ、大変有意義な活動となりました。  
 (事務局 池谷)